

留 学 報 告 書

記入日：2013年9月29日



所属学部／研究科・学科／専攻	文学部文学科演劇学専攻
留学先国	米国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	サザンイリノイ大学カーボンデール校 Southern Illinois University Carbondale
留学期間	2012年8月～2013年5月
留学した時の学年	3年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生 (留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2013年5月16日
明治大学卒業予定年	2014年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：8月下旬～12月下旬 2学期：1月上旬～5月上旬 3学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	15,720人
創立年	1869年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	\$9,075	726,000円	明治大学の授業料 ※全て\$1=80円で計算
宿舍費	\$5,074	405,920円	Neely Hall 2人部屋 263680
食費	\$3,296	263,680円	学生食堂 (ブッフエ) : ミールプラン週12回
図書費	\$250	20,000円	
学用品費	\$30	2,400円	
教養娯楽費	\$500	40,000円	
被服費	\$300	24,000円	
医療費	\$0	0円	
保険費	\$300	24,000円	形態：
渡航旅費	\$1,250	100,000円	
雑費	\$1,000	80,000円	
その他		円	
合計	\$21,075	1,686,000円	

渡航関連	
渡航経路 ：成田→シカゴ→セントルイス→マリオン	
渡航費用	
チケットの種類	正規割引運賃航空券
往路	_____
復路	_____
合計	¥100,000
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
JAL	
滞在形態関連	
1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）	
大学の宿舎	
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（同居人数 1）	
3) 住居を探した方法：	
SIU の担当者が交換留学生の為に学内の寮をおさえてくれていました。勿論自分でアパート賃借することも可能です。	
4) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
留学生が多く滞在先の Neely Hall は 1 人部屋と 2 人部屋があります。1 人部屋と 2 人部屋の広さ（約 12 畳）とレイアウトは変わらず、部屋に備え付けられているベッド、勉強机、クローゼット（各 2 個）、水道、ヒーターを 1 人で利用するか 2 人で共有するかの違いです。シャワーとお手洗いは隣室の人とも共有します。テレビは各階のラウンジと 1 階に 2 台あり、見ている人がいなければ好きなように使えます。Neely Hall の 1 階に一応キッチンがありますが、フライパンやお皿などの用具と食材は各自持ち込みで、毎日のように誰かが使うので自炊生活はまず不可能に近いです。隣の建物に（徒歩 30 秒）に学生食堂があるので、食事には全く不自由しません。	
現地情報	
1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
利用する機会が無かった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した：交通事故に遭った為、病院に身体に異常がないか検査を受けに行った。保険が適応された為、受診料はかからなかった。	
2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
協定校留学生担当者	
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
過去にサザンイリノイ大学に留学された方々の留学報告書から危険情報について収集した。防犯対策は、現金を数カ所に分けて保管した。私は盗難被害に遭わなかったが、電子機器をルームメイトに盗まれた人がいた。	
4) パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか。 （例：寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）	
寮や図書館で問題なくインターネットに接続できた。又、国内・国際電話問わず電波は良好だった。	
5) 現地での資金調達はどうに行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）	
出発前に city bank の口座を作り、大学内の ATM から引き出せるようにしていた。	
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
特に無し。日本食が恋しい方には……お米やインスタントのお味噌汁、日本のお菓子などは、大学の近くにあるインターナショナルグロセリーストアで購入できます。但し、値段が高いです。	

進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
マイナビ、リクナビ、就職支援事務室
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5月中旬に帰国し、7月初旬まで大学院進学に向けて準備していた。しかし、そこから方向転換し就職活動を始めた。大手企業の選考は終わってしまっていたが、中小企業であればまだまだ応募できる場所は沢山あった。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 9 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)：	履修した授業科目名(日本語)：
Theater Insight	演劇概論
科目設置学部・研究科	Theater
履修期間	Fall 2012
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75分が 2回
担当教授	Rick N Jones
授業内容	大学の基幹科目に設定されており、演劇とは何か?を専門用語を紹介しながらわかり易くレクチャーする。
試験・課題など	期末テストは、教科書で習ったことから問題が出された論述形式。 課題として、大学内の劇場で行われた RENT の観劇レポートを課された。
感想を自由記入	演劇について全く知らない人でも十分ついていける程わかりやすい授業だった。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Speak/Listen in ESL		留学生の為の英会話	
科目設置学部・研究科	Linguistics		
履修期間	Fall 2012		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が5回		
担当教授	Dimitrova Charkova		
授業内容	12:00~12:50 に平日は毎日授業があった。先生は英語の先生を目指す大学院生が一週間ずつ担当した。		
試験・課題など	試験・課題なし		
感想を自由記入	内容は簡単なので、英会話に自信のある人には不向きかもしれない。しかし、生徒は全員留学生なので、友人の輪を広めるには絶好の機会。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
English Comp. I for ESL		留学生の為の論文の書き方	
科目設置学部・研究科	Linguistics		
履修期間	Fall 2012		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Grace Carolene Sherrill		
授業内容	段階を踏んでアメリカの大学で必要とされる論文の書き方を学ぶ。		
試験・課題など	毎回のよう宿題が課された。最終的には5ページの論文を書いた。期末テストは、このクラスで習って有意義だったことや今後の課題などを1~2ページ書いた。		
感想を自由記入	論文の書き方が全くわからなかったのが、本当に受講してよかった。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
French Lang & Culture I		フランス語と文化 I	
科目設置学部・研究科	French		
履修期間	Fall 2012		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が4回		
担当教授	Jennifer Aurelie Alexandra Vivier		
授業内容	フランス語の初級クラス。文法だけではなく、フランス文化についても学ぶ。		
試験・課題など	週に一度、単語のテストがあった。課題は、フランス語と英語を使ったプレゼンテーション（1度だけ）。期末テストは、文法と読解。		
感想を自由記入	フランス語初級者として、アメリカ人と同じ立場で受けた授業だったので精神的ストレスが殆どなく、非常にリラックスし、楽しく学ぶことのできたクラスだった。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Comm Across Cultures		地域と文化	
科目設置学部・研究科	Speech Communication		
履修期間	Spring 2013		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Bin Zhang		
授業内容	国による習慣や性・人種差別などを学ぶクラス。1チャプターを2、3人で担当し、プレゼンテーションする形で進み又、議論も盛んだった。		
試験・課題など	課題は、映画を2本観て、それに関するレポート(1ページ)。中間・期末テストは、教科書の内容のおさらいで記述問題（教科書・ノート持ち込み可）。		
感想を自由記入	先生は中国人、生徒も様々なバックグラウンドを持った人が集まったので、多くの興味深い話があり、議論が盛り上がった。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
French Lang & Culture II		フランス語と文化 II	
科目設置学部・研究科	French		
履修期間	Spring 2013		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が4回		
担当教授	Christophe Pierre Philippe DuPont		
授業内容	French Lang & Culture Iの続き。		
試験・課題など	基本的に French Lang & Culture I と授業の進め方は変わらない。プレゼンテーションはテーマが自由だったので、ニースの観光地を紹介した。		
感想を自由記入	気さくな先生で、教科書の内容以外にもフランスについて色々話を聞かせてもらえた。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Intro Event Coordination		イベント・エンターテイメント	
科目設置学部・研究科	Hospitality & Tourism Admin		
履修期間	Spring 2013		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	オンライン（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	Nicole L Davis		
授業内容	オンラインでの授業で好きなときにいつでも勉強できた。どのように営利・非営利のイベントを開催するのかを学ぶクラス。ディズカッションは、チャットのように行った。		
試験・課題など	課題は毎週1チャプター進み、毎回1ページ程度のレポートを提出した。あと、小テストもあった。期末テストは、小テストの中から出題された。		
感想を自由記入	自分のペースで進められるのは良かったが、オンラインだとディスカッションがスムーズでなかったり、わからない時にすぐに質問できないのでやりづらかった。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Event Entertainment		イベントコーディネート 入門	
科目設置学部・研究科	Hospitality & Tourism Admin		
履修期間	Spring 2013		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	オンライン（チュートリアル, 講義形式等）		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	Nicole L Davis		
授業内容	オンラインでの授業。Intro Event Coordination のあまり内容は変わらないが、こちらの方がより具体的だった。		
試験・課題など	課題は毎週1チャプター進み、毎回1ページ程度のレポートを提出した。あと、小テストもあった。期末テストは、小テストの中から出題された。		
感想を自由記入	参考映像が毎回配信され、これが理解を深める上で役に立った。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Tennis		テニス	
科目設置学部・研究科	Kinesiology		
履修期間	Spring 2013		
単位数	2		
本学での単位認定状況	1単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	実習（チュートリアル, 講義形式等）		
授業時間数	1週間に115分が2回		
担当教授	Wei-Hsiang Tsao		
授業内容	テニスコートでテニスをする。毎回、フォア、バック、サーブなど練習内容が決まっていた。		
試験・課題など	課題は大学テニス部の試合を休日に見に行き、レポートを書いた。又、最終授業で、ストロークとサーブのテストがあった。		
感想を自由記入	大学は非常に広く、寮からテニスコートまで歩くと20分以上かかった（バスを使うと約10分）。座学の授業と違い、コミュニケーションがとりやすく、とても楽しかった。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	サザンイリノイ大学への留学が決まる。
4月～7月	英会話教室に通う。
8月～9月	8月12日に出発。(東の間の夏休みは、悔いの無いようやりたいこと、食べたいものは全部食べた) 8月20日から早速授業が始まる。
10月～12月	ハロウィーン、クリスマスは非常に重要視されていた。
2013年 1月～3月	冬休みを利用し、NYへ旅行へ行く。
4月～7月	5月の第一週は期末テスト週間。 二週目にカーボンデールに別れを告げ、ラスベガスを一週間観光して帰国。
8月～9月	就職活動一色の夏休み。